

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

林業の川上から川下(森林管理→原木提供→製材→市場・流通→住宅等で活用)の循環の流れをさらに円滑にし、間伐材の受け入れ態勢の強化など、国産材の魅力を高め、外材依存度を下げ、国内林業の発展に貢献していく。また、インターンシップ等を通じ若手後継者の育成を図り、持続可能な林業経営を追求し、併せて森林資源の育成、生態系を維持するモデル的な林業事業体を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	国産材(特に県産材)の魅力を高め、外材依存度を下げる。	取扱い国産材の割合 2023年80%→2026年90%
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	インターンシップを積極的に受け入れる。	受け入れ人数 2021年～2023年までの3年間で60人→2024年～2026年までの3年間で90人
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	森林の管理、育成による生態系の維持、カーボンオフセット事業の拡充を図る。	カーボンオフセット量 2023年10t→2026年15t

<パートナーシップ>

林業を持続可能な産業にしていくため、森林所有者、製材、流通、運輸、行政機関等との連携を強化し、森林の維持、管理、保全、国産材の魅力の発信と活用、循環を通じ国土保全と林業振興に社員一丸となって貢献していく。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	国産材(特に県産材)の魅力を高め、外材依存度を下げる。	取扱い国産材 30%→50%に上げる	取扱い国産材 30%→80%
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	インターンシップを積極的に受け入れる。	2021年～2023年 までの3年間で90人	2021年～2023年 までの3年間で60人 (対象学生数減、コロナの影響等)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	森林の管理、育成による生態系の維持、カーボンオフセット事業の拡充を図る。	カーボンオフセット量 10t/年(1社)→12t	10t/年 (拡充宣伝を行うも思 うように浸透せず)

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。